市議会3月定例会
市長所信

市議会令和8年3月定例会が、2月24日から3月26日までの31日間の日程で開催されました。

開会日に、当面する市政の重要課題について、岩佐市長が所信を表明しました。抜粋して要旨部分のみを掲載します。

徳島南部自動車道「小松島南IC～阿南IC」間の開通

本市にとって初めてのフルICとなる、高速道路の玄関口「阿南インターチェンジ」が、来月8日、いよいよ開通を迎えることになりました。市民が長年、待ち望んだこの「歴史的瞬間」を、皆さま方とともに分かち合えることは、私にとって、この上ない喜びであります。

この度の開通を迎えるに至ったその背景には、多くの方々のご尽力とご支援がございました。市議会の皆さま方をはじめ、地元選出国会議員、国土交通省、地元選出県議会議員、徳島県などの関係機関、また必要となる土地をご提供いただいた皆さま、工事に携わった全ての関係者各位に対し、心から感謝を申し上げます。

また、地元住民の皆さまにも、工事期間中には多大なるご理解、ご協力をいただきました。改めて深くお礼申し上げる次第であります。

この度の開通は、本市がこれまで継続して行ってまいりました中央要望活動の成果が現れたものであると考えており、「阿南市高規格道路等建設促進期成同盟会」をはじめ、これまでの要望活動にお力添えをいただいた全ての方々に対し、重ねて感謝を申し上げます。

「命の道」「活力の道」であるこの道路が、地域の絆を結び、人々の希望をつなぐ存在となることを願いますとともに、今後は「徳島津田IC」までの早期接続、また南進する「阿南安芸自動車道」の整備促進に向け、より一層効果的な要望活動となるよう、あらゆる関係者と力を合わせ、一丸となって取り組んでまいる所存であります。

「地域の個性ときずなが輝く阿南」の創生

令和8年度におきましては、本年度32年ぶりに開催した中学生による「こども議会」に引き続き、高校生を対象とした「こども会議」（仮称）の開催を計画しており、柔軟な発想や若い視点を本市施策に取り入れていきたいと考えております。今後とも年齢に応じた多様な意見表明の場を積極的に確保し、誰もが市政に参加できる環境を創出してまいります。

那賀川町複合施設の整備につきましては、子どもから高齢者まで幅広い世代が交流し、多様な活動や表現が生まれる場であるとともに、有事の際には地域の皆さまの安全・安心を支える拠点として機能することをめざしております。

また、これまでの生涯学習機能や支所機能などを集約し、行政サービスの利便性向上を図るとともに、那賀川エリアの中心的な役割を担う施設としての整備し、ここから、新しい人の流れ、新しい挑戦、新しい地域の力を生み出していく決意であります。

今後におきましては、令和8年度中に実施設計を取りまとめ、令和9年度の工事着手、令和11年度中の供用開始に向け、着実かつ力強く事業を前へ進めてまいります。市民の皆さまに長く愛され、誇りと希望を感じていただける施設となるよう、全力で取り組んでまいります。

「災害に強く安全・安心な阿南」の創生

長年の懸案でございました、旧ごみ焼却施設である阿南市クリーンセンターの解体につきまして、先般、着実に事業を進めるため、地域の皆さまの声や要望を大切にしながら、災害対応力の向上をはじめとする跡地活用の新たな方針について、私の考えを地元協議会にお伝えしたところであります。

今後のスケジュールとして、令和8年度には、解体工事設計業務に着手し、令和9年度からは、解体工事を約2か年の予定工期として取り組んでまいりたいと考えております。

次に、避難所となる小・中学校体育館に空調設備を順次計画的に設置し、児童・生徒の学習環境、一般利用者の競技環境及び避難所開設時における生活環境の向上をめざすとともに、施設の長寿命化に加え、空調効率の向上を目的とした屋根の全面改修を行う、小学校屋内運動場空調整備及び屋根改修事業を新たに実施いたします。

このほか、国の緊急防災・減災事業債を活用した「消防救急デジタル無線装置更新整備事業」は、令和8年度に指令室、機械室、明神山前進基地局の各無線装置を、令和9年度以降に各移動局の無線設備を順次更新するため予算計上をしております。

「健康でひとに優しい阿南」の創生

昨年9月議会におきまして表明いたしました「個別避難計画作成モデル事業」につきまして、令和7年4月1日時点で19件0・8％でありました個別避難計画の作成率は、本年2月1日時点で890件35・2％となっております。ご協力賜りました全ての皆さまにこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

この成果をさらに発展させ、作成された計画がいざという時に確実に機能する「実効性のある計画」として地域に浸透させていくため、来たる3月から、新たに「私のひなん計画作成完了ステッカー」配付キャンペーンを開始いたします。

加えて、聴覚や発話に困難のある人が電話リレーサービスの手話通訳オペレーターを介し、本市に相談できる「手話リンク」サービスを徳島県内で初めて導入いたします。「手話リンク」サービスを通じて、通常の電話窓口にストレスなく手話でコンタクトができるようになり、誰でも利用しやすい窓口サービスの拡充にもつながります。

さらに、新たな施策として、県下8市に先駆けて実施する「5歳児健診事業」のほか、「RSウイルス感染症予防接種」、「阿南第一中学校エレベーター設置工事」などを実施いたします。

このほか、県内で初めての取り組みとなる「郵便局へのマイナンバーカード事務委託事業」や、予約型のりあい交通「あらたのライドシェア」として、新野地区に公共ライドシェアを本格導入することといたします。

「地域産業が伸びゆく阿南」の創生

地域に根差し、挑戦を続ける中小企業事業者の成長を後押しし、地域全体の活力を高めていく「エコノミックガーデニング」の推進についてであります。

本市は、これまでの商工業振興策を、企業の成長フェーズに応じて展開する体系へと再編し、その中核として、新たに「阿南市中小企業等振興支援補助金」制度を創設いたします。

本制度は、迅速に活用できる機動性を重視した補助金により、創業支援や人材確保・育成のほか、経営改善や販路拡大、事業承継など、中小企業が直面する課題の解決に向けた取組を支援するものであります。

さらに、県の「経済変動対策資金」に係る信用保証料の一部を、借入事業者に代わって本市が補給する制度を新設し、原材料価格の高騰や景気変動に直面する企業の資金繰りを重層的に支援し、地域産業の安定と持続的成長をめざしてまいります。

加えて、少子化時代に人が集まる企業・地域のあり方を考える「企業支援セミナー」を開催し、若者に選ばれる職場環境づくりを促進するとともに、産官学が連携して、市内の中学2年生を対象に、地元企業の魅力を伝えるキャリア教育を推進し、将来の進路において「地元で働く」という選択肢を育み、人材を育て、地元定着へとつなげてまいります。

「こどもまんなか笑顔あふれる阿南」の創生

不育症治療費等助成金事業として、妊娠するものの流産などを繰り返し、出産に至らない「不育症」について、検査や治療にかかる費用の一部を助成いたします。

また、富岡地区における認定こども園整備事業については、令和10年4月の開園を見据え、令和8年度当初予算に施設整備に係る補助金を計上しております。これにより、保育需要に対応した安定的な受け皿を確保し、保護者が安心して子どもを預けられる環境の整備を推進してまいります。

加えて、令和8年4月から本格実施される「こども誰でも通園制度」につきまして、未就園児家庭の孤立防止や育児負担の軽減、子どもの育ちと発達を支える早期支援の観点から、円滑に事業を開始できるよう必要な予算を確保し、事業所及び関係機関と連携しながら実施体制を整備してまいります。

さらに、学校給食無償化等事業として、「中学校3年生学校給食費補助金」、「中学校給食費無償化」、「幼稚園児給食費無料繰出金」などに取り組みます。

このほか、「阿南西部公園ローラーすべり台整備事業」、「小中学校コンピュータ機器購入事業」などを新たに予算計上しております。

「歴史・文化とスポーツでにぎわう阿南」の創生

女子野球交流試合につきまして、市内の女子選手たちは活躍の場を求めて県外の高校へ進んだり競技を諦めたりしている状況でありますことから、「野球のまち」を掲げる本市として、女子硬式野球に着目し、交流大会や合宿の舞台を創出することで、競技の魅力を広く発信するとともに、市内における女子野球の普及・発展と女子硬式野球部創設に向けた機運醸成という新たな流れを生み出してまいりたいと考えております。

さらに、令和元年から毎年本市で野球合宿を行っている京都大学硬式野球部と連携し、ボードゲームの野球盤に見立てた「あななんCupリアル野球盤大会」を開催します

全文は、市ホームページで公開しています。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。